

令和4年度5月補正予算の概要

京 都 市

今回の補正は、公共交通事業者のデジタル技術を活用した利便性向上に資する取組への支援や、市民からいただいた寄付金を活用し、老朽化した運動施設の改修等を行う。

1 補正予算の規模

(単位：百万円)

会 計 名	補正前の規模	補 正 額	補正後の規模
一般会計	920,365	572	920,937
自動車運送事業特別会計	25,998	収入予算 の増額	25,998
高速鉄道事業特別会計	71,229		71,229
今回補正しない特別会計	779,372	-	779,372
合 計	1,796,964	572	1,797,536

2 補正予算の内容

(1) 一般会計 572,000千円

(都市計画局)

デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通の推進（民間公共交通事業者）

市独自 114,000千円

〔財源：国庫支出金（臨時交付金）114,000千円〕

(行財政局)

デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通の推進（市バス・地下鉄）

市独自 332,000千円

（自動車運送事業特別会計繰出金 192,000千円，

高速鉄道事業特別会計繰出金 140,000千円）

〔財源：国庫支出金（臨時交付金）332,000千円〕

持続可能な地域公共交通の実現に向けて、ICカードのポイントサービス導入による乗継割引、混雑データ・運行データの整備・配信等、公共交通事業者のデジタル技術を活用した利便性向上に資する取組を支援する。

(文化市民局)

球技場等運動施設整備事業 **市独自** 126,000千円

〔財源：基金繰入金 126,000千円〕

債務負担行為設定（令和4年度～5年度 41,000千円）

市民からの寄付を活用し、老朽化している宝が池公園運動施設球技場及び下鳥羽公園球技場の人工芝等の改修を行うとともに、宝が池公園内に新たにスケートボードをはじめとするアーバンスポーツ対応施設を整備する。

総事業費：15.4億円（全額、寄付金）、事業期間：令和4年度～6年度

※ 新設するアーバンスポーツ対応施設に係るランニングコストは、利用者からの使用料収入等で確保する。

(2) 特別会計

<自動車運送事業特別会計・高速鉄道事業特別会計>

一般会計繰入金の増額 (332,000千円)

(自動車運送事業特別会計 192,000千円,

高速鉄道事業特別会計 140,000千円)

[財源：一般会計繰入金 332,000千円]

一般会計から市バス・地下鉄事業のデジタル技術を活用した利便性向上の取組への支援を受けるにあたり、一般会計繰入金の増額補正を行う。

3 補正予算の財源内訳

(1) 一般会計

(単位：百万円)

区分・事業名	経費	左の財源内訳					一般財源
		特定財源				その他特財	
		国庫支出金		府支出金	一般財源		
		臨時交付金	臨時交付金以外				
	572	446	-	-		126	-
デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通の推進（民間公共交通事業者）	114	114	-	-	-	-	
デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通の推進（市バス・地下鉄）	332	332	-	-	-	-	
球技場等運動施設整備事業	126	-	-	-	126 <small>（京都みらい夢基金繰入金）</small>	-	

(2) 特別会計

(単位：百万円)

会計名	経費	特定財源	左の内訳
自動車運送事業特別会計	-	192	一般会計繰入金 192
高速鉄道事業特別会計	-	140	一般会計繰入金 140

<参考> 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用状況

(単位：百万円)

項目	金額	備考
2月市会時点の臨時交付金残高 (A)	△ 1,405	
令和3年度国補助裏分（確定値－推計値） (B)	340	令和4年2月市会時点での推計値：3,000百万円 確定値：3,340百万円
5月補正での交付金活用額 (C)	446	
臨時交付金残高 (A+B-C)	△ 1,511	引き続き、不足額の解消に向けて、国予算のうち地方への未交付額の交付を求めている